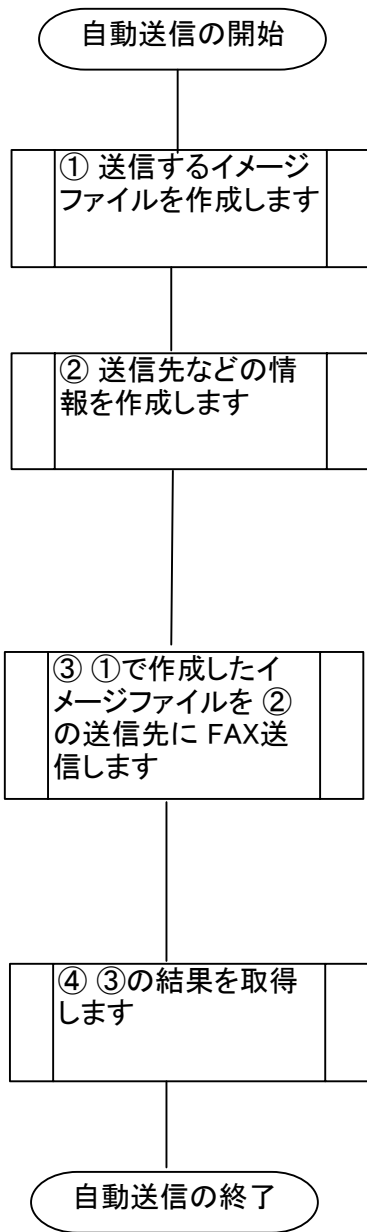


自動送信 処理の相違点



	信乃助 (V4.5)	信汰楼 Twin
①	信乃助プリンタドライバにより印刷します。 印刷されたイメージは *.FAX に出力されます。 出力ファイル名は INIファイルに指定します。	信汰楼プリンタドライバにより印刷します。 印刷されたイメージは *.TIFファイルに出力されます。 出力ファイル名はライブラリで提供された関数によりレジストリに書き込んで指定します。 TIFファイルは、他の一般的な画像ビューアで閲覧可能です。
②	指定された構造体に値を指定します。	ライブラリで提供された関数により、各値を指定して送信指示ファイル (CSVファイル) を作成します。 (注 .NETなどでは文字化けが発生する場合があります) または、アプリケーションでCSVファイルを作成します。
③	ライブラリで提供された関数により送信を開始します。 (送信するファイル名、送信先等を引数で指定します。) 次の送信ファイルがあるときは、送信の終了まで待ちます。 関数呼出しにより、信乃助は自動的に起動され送信を開始します。	信汰楼の自動送信フォルダに のTIFファイルと のCSVファイルを移動します。 移動の際にはTIF、CSVの順に移動します。 同じ名称の①と②のファイルがペアとなります (AAA.TIF と AAA.CSV , BBB.TIF と BBB.CSV) 信汰楼が自動送信フォルダにファイルの追加を検知すると、自動的に送信を開始します。 ※ 送信中でも、次の送信ファイルが受け付け可能です。 モデム2台で送信すれば、効率的に送信できます。 信汰楼で受け付けたTIFファイルとCSVファイルはそれぞれ ._TIFと ._CSVにリネームされます。 信汰楼は常駐でご使用ください。(推奨) または、アプリケーションから起動してください。
④	③の関数のリターン値により 送信結果を取得します。 再送の場合、専用関数を呼出します。	②の中に指定した「結果ログファイル」を参照して、送信結果を取得します。 再送する場合、①から再度処理を行う必要があります。